

事務連絡

平成28年1月4日

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

赤潮プランクトン調査の結果、魚類をへい死させる恐れのあるプランクトンは確認されませんでした。

貝毒プランクトン調査の結果、麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウム カテナータムが最大で0.32細胞/m、アレキサンドリウム属が最大で0.08細胞/m/確認されました。また、二枚貝を着色させる可能性のあるミリオネクターブラが最大で0.13細胞/m/確認されました。

本日の調査では赤潮は確認されませんでした。昨日(1/3)の昼頃にショウショウバエ付近で赤潮が確認されていますので注意してください。

今後、海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日は、海水100mlを1mlに濃縮してプランクトンの検鏡を実施しております。)

採集地点 採水時間 透明度	水深 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	溶存酸素 (mg/L)	ギムノディニウム カテナータム	アレキサン ドリウム属	ミリオネクタ ルブラ
一切田(別図⑪)	0	19.9	34.7	6.6	0	0	13
13:55	5	19.9	34.7	6.6	32	8	1
透明度 -m	10	19.9	34.7	6.6	24	0	2

※プランクトンの細胞数は海水100ml当たりの細胞数です。

